

潮風ガーデン情報

笠戸島 花のロードプロジェクト

「潮風ガーデン」を観光スポットと位置づけ、笠戸島に来られたお客様に、春は「河津桜と菜の花」のコラボレーション、夏は「ひまわり」を楽しんでいただき、写真撮影スポットとしてもSNSで発信力を高めたいと考えています。また、地域住民の皆さまや子どもたちと作業をすることで、地元への愛着を育て「花によるまちづくり」を進めます。

ひまわりロードプロジェクト

6月7日、ひまわりの種を約2,000粒植えました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を取り、第2四恩幼稚園、笠戸島住民の皆さま、国民宿舎大城、下松商工会議所青年部、下松市、下松商工会議所の協力により、総勢69人で種まきと同時に周辺のゴミ拾いも実施しました。

8月上旬には、満開となり、青い空と海、夕日、ライトアップと一日を通して様々なひまわりを楽しんでいただくことができました。

下松商工会議所青年部より創立40周年記念事業として、「ライトアップ設備」と「笠戸島観光案内看板」を寄贈していただきました。



菜の花と河津桜 ロードプロジェクト

9月30日、菜の花の種を約2,000粒植えました！

下松慈光幼稚園、笠戸島自治会連合協議会、笠戸島観光推進委員会、下松市栽培漁業センター、下松商工会議所青年部、下松市、下松商工会議所の協力により、総勢83人で実施しました。

令和5年1月下旬～3月上旬には見頃を迎え、菜の花と河津桜のコラボレーションを楽しむことができます。

【キッチンカー出店】

キッチンカー「キッチンアリス」さんが出店し、多くのお客様で賑わいました。



10/17 ひらめ等魚介類供養祭

笠戸島はなぐり海水浴場にある「ヒラメ供養塔」において、「ひらめ等魚介類供養祭」を開催しました。

日頃の食生活で恩恵を受けている魚介類を供養しようと、毎年この時期に開き今年で34回目を迎え、読経をしていただき、下松市長や下松市議会議長、県議会議員はじめ漁業関係者、当協会役員など25人が出席し、海の恵みに感謝しました。

供養祭後は、はなぐり海水浴場沖から笠戸ひらめと真鯛を各20匹、海へ放流しました。



9/5 日本学生ソフトテニス選手権大会にて下松市をPRしました



9月5日、下松市恋ヶ浜緑地庭球場で「第77回三笠宮賜杯日本学生ソフトテニス選手権大会(女子ダブルス)」が開催され、全国各地区代表の大学生122ペアが熱戦を繰り広げました。

下松市PR部長「くだまる」の登場で、緊張感ある会場が和やかな雰囲気となり、選手の皆さまとの写真撮影もしました。

当協会では、会場で観光パンフレットの配布やグッズ販売のブースを設置し下松市をPRしました。



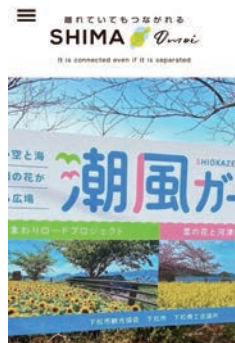
全国に向けて発信 雑誌、サイトに掲載されました

笠戸島の情報を掲載していただいている、有人離島の情報サイト「SHIMA-Omoi(島想い)」で「潮風ガーデン」と「笠戸ひらめのパエリアの素」を紹介していただきました！

SHIMA-Omoi
島想い




「潮風ガーデン」 「笠戸ひらめのパエリアの素」



ディアゴスティーニ・ジャパン 発行「週刊 日本の島」第20号に、笠戸島を全4ページに渡り掲載していただきました。





くだまつ農山漁村ツーリズム協議会

令和3年より、下松市の農山漁村の魅力をまるごとブランド化し、都市部からの交流人口創出により、「農業漁業と観光で生活ができる地域」、「誰もが誇りを持てる地域」を目指すことを目的に、「くだまつ農山漁村ツーリズム協議会」を立ち上げ、『農泊推進事業』、『特産品開発事業』、『人材活用事業』の3つの事業に取り組んでいます。

【協議会ホームページを開設】

協議会の取組内容や、モニターツアー、農業体験・漁業体験の様子、下松市の特産品などを紹介しています。



【体験!実感!下松大好きプロジェクト ～米川蕎麦作り体験～】

市内中学生や、米川地域住民の皆さまをはじめ、下松商工会議所青年部、下松市、下松市観光協会など関係者が参加し、休耕田を活用した蕎麦づくり体験の一環として、8月26日に蕎麦の種蒔きを実施しました。

【新たな特産品として青パイヤ麺の開発】

青パイヤの葉を使用した「青パイヤ麺」の開発を令和3年度から進め、試作品の作成や試食、成分検査など実施し、何度も改良を重ね、概ね製品が完成しました。

パッケージも作成し今年度中に販売予定です。

また、下松産の「キノコ・トマト・レモン・にんにく」を使用したパスタソースも開発中で、青パイヤ麺とパスタソースのセットで販売を予定しています。

【プロモーション活動】

農泊推進事業として取り組んでいる「体験コンテンツ」と、新たな特産品「青パイヤ麺」の試作品が完成し、プロモーション活動として、JTB北九州支店、JTB長崎支店を訪問し、下松満喫体験プログラムや、青パイヤ麺や下松の特産品など動画やチラシを活用し、誘客を目的にPRしました！

また「青パイヤ麺」の開発に協力していただいている「小林甚製麺」を訪問し、工場見学や意見交換をしました。持続可能な「くだまつ観光」を目指し、今後も事業に取り組んでまいります！



協議会の様子



JTB 北九州支店訪問



青パイヤ麺調理例



小林甚製麺視察